

## 講演

就職問題懇談会 立教大学 総長 吉岡 知哉

立教大学の吉岡でございます。平成27年度の全国キャリア・就職ガイダンス開催にあたり、主催者の一員である就職問題懇談会を代表いたしまして、私からは大学等、教育機関の立場から学生のキャリア教育、就職採用活動についてお話をさせていただきます。この間、就職問題懇談会は高等教育の質を向上させ、学生の学修環境を確保するため、大学等関係団体の総意として企業側に対して卒業修了予定者の就職・採用活動の早期化・長期化の是正について要請を行ってきました。高等教育機関に入学し、基礎的な学力を身に付け、ようやく専門教育の中で自分の目指す道を見いだそうとする時期に就職活動のために多くの時間を割かれるという状況は、物事を深く考える力、問題を発見し自らの課題としてその解決に向かう学士の資格にふさわしい能力の育成にとって大きな障害となっていると考えたからです。就職採用時期を遅らせることについては、先ほど文部科学省の吉田高等教育局局長のお話にもありましたが、一昨年の2013年度6月14日に閣議決定された日本再興戦略にも盛り込まれました。これを受け、一般社団法人日本経済団体連合会が同年9月13日に採用選考に関する指針を改定し、さらに就職問題懇談会において同年9月27日に申し合わせを策定公表するなど、政府、企業、教育機関が一体となって取り組んでまいりました。そしてまさに今最終学年を迎えている学生たちが新しいスケジュールで就職活動を行っています。これを円滑に実施するためには、教育機関と企業の双方が緊密に連携協力して、このたびの変更の趣旨を踏まえた対応を行うことが何よりも大切だと考えます。私たち大学側としては、全教職員が連携協力して学生に不安と混乱が生じないように適切な指導対応を行ってまいります。各企業の皆様方におかれましても、学生が学業に専念し、留学や課外活動等の多様な経験を積むための環境を整えるという時期変更の趣旨にのっとった採用活動を実施していただくようお願いいたします。

さて私たちは科学技術の急速な進歩とグローバリゼーションによる巨大な変動の中に置かれています。情報通信技術の発達によって、あらゆる出来事が一瞬にして地球全体に伝わるようになりました。誰もが膨大な情報にアクセスできるようになった一方で、一瞬先の予測もできないというような状況も生じています。既存の価値観が根底から揺らぎ、新しい技術や方法は瞬く間に古びてしまいます。グローバリゼーションの進展に伴い、これまで考えられなかったような可能性と機会が生じている半面、人間の処理能力をはるかに超える膨大な情報があふれ、文化や価値の均一化、画一化が進み、社会的な格差が拡大しているという指摘がなされています。このように猛烈なスピードで変化する時代において必要なもの、それは時代の変化によって古びてしまわない思考力、長い時間軸と広い視野から物事を認識する力、自分と社会とをより良いものへと変化させていく勇氣、そして自分とは異なる文化的背景や価値観を持つ人々とともに働き、共に生きていくことのできる共生の力とリーダーシップの育成です。世界の国々がこれまで以上に高等教育に力を注い

でいるのは、このために他なりません。言うまでもなく、社会であれ組織であれ、イノベータータイプであるためには、既存の枠組みでは捉えきれないような多様性がなければなりません。大学等の高等教育は、現在多様化に向けたさまざまな取り組みを行っています。カリキュラムについては、教室での授業に加え、ボランティア、インターンシップ、あるいは海外研修や留学、企業や地域との共同等、アクティブラーニング、サービスラーニングの手法を取り入れた改革が進められています。課外活動もまた、人間形成のための教育の一環として積極的に位置付けられています。他者とのさまざまな出会いと交流を組み込んだ、これら多様な教育を通じて、一人一人の学生の社会性を涵養し、これからの人間社会を担う青年たちを育てることが目指されていると行うことができるでしょう。また海外からの留学生の受け入れ、障害を持った人々のためのハード面、ソフト面双方からの支援体制の充実、あるいは社会人の学び直しのための制度の拡充等によって、学生層の構成が多様化していますし、外国籍の教職員の採用等によって教学の環境も全体として大きく変化しています。大学と社会とを関係付ける媒介的機能を持つキャリア教育、就職支援は、今や補助的な支援策としてではなく、このような教育の柱として教育改革全体の中でこれまで以上に大きな意味を持つようになってきています。本日の第2部の情報交換会において、障害のある学生、外国人留学生のキャリア教育、就職支援についてのセッションが企画されていますが、このような多様な学生支援は、今後ますます重要になっていくに違いありません。

最初に述べましたように、現在新しいスキームによる就職活動、採用活動が始まっています。学生生活の4年間は決して長いとは言えない期間ですが、一人一人が自らの可能性を育み、将来の生活のための力を蓄える掛け替えのない時間です。就職活動はそのような学生生活の集大成であり、未来へのスプリングボードに他なりません。私たちは学生の一人一人が自分の人生を深く考え、激動する現代社会の中で十全な自己実現ができることを心から望んでやみません。そのためにも私たちは教育の質の向上にこれまで以上に努力するとともに、キャリア教育、就職支援に力を注いでいく所存です。企業の皆様方には、キャリア教育の一環としての早い段階からのインターンシップへのご理解とご協力をお願いいたします。また採用選考の際には、少なくとも卒業前年度の学業成果を適切に評価していただくとともに、学生が自由な職業選択ができるよう格別のご配慮をお願いいたします。各教育機関においては、学生に対する適切なケアを行うとともに、社会人としてのマナーと常識の指導を徹底するようお願いいたします。本日のガイダンスが、企業側と大学側との相互の理解を深め、次の時代を担う青年たちの育成のための実り多い意見交換の場となることを期待しております。本日はご来場ありがとうございました。